

# 東京北医療センター 血液内科専攻医プログラム

## 病院特徴

- ◆ 24時間体制による小児診療や、周産期診療に重点を置いた医療を提供
- ◆ 地域の医療機関等の連携を深め、地域における中核病院としての役割
- ◆ へき地・離島等への医療支援を行うと共に、災害時には拠点病院としての役割
- ◆ 病院と介護老人施設との包括的サービスの提供
- ◆ 民間の創意工夫を生かした効率的な事業運営



- ◆ 期間：日本血液学会認定研修施設で3年以上研修後専門医受験資格取得。卒業年次により開始年度が異なる。

## プログラムの概要

### ＝熱い達成感を実感しよう！＝

- ◆ IMC-ART(後述)で、最先端の骨髄腫診療を含む各種血液疾患の診療を担当する。詳細な理学所見、塗抹標本の'濃い'判読、検査値の奥深い解釈、等で正確な診断を導き、幹細胞からの組織再生を含む'ダイナミックで熱い治療学'を実践する。
- ◆ 諸学会で発表し、論文を作成し、論理的な最新血液学の発展に貢献する。
- ◆ 研修認定施設での臨床研修を通じ、日本血液学会専門医の受験資格を得る。
- ◆ IMC-ART内の、次世代シークエンサー、フローサイトメトリー、PCR装置、幹細胞測定、細胞培養、などを介し、最新の生物学的手法を体得する。
- ◆ 共同研究なども介し、「科学は困難を克服するために存在する」ことを体現する。

## プログラムの特徴

＝分子生物学を含む最新診断学から、再生医療を含む治療学までが実践できる、最新血液学の醍醐味を堪能する＝

- ◆ 国内最多の骨髄腫に対する幹細胞移植を担ってきたスタッフから、最先端の血液内科診療をman-to-manで学ぶことができる。
- ◆ 日本骨髄腫学会長や、国際学会組織委員を担った専門家の指導も受けることができる。
- ◆ 初期は臨床経験を深めることが主目的。後半は論文作成や研究への着手を始める。

## 得られる受験資格

- ◆ 日本血液内科学会『血液内科専門医』

## ルート例(全て院内で3年間血内研修)

旧タイプ

卒後2年間初期研修→3年間血内研修

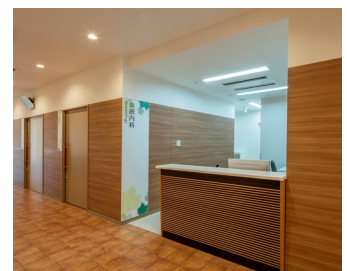
内科標準タイプ

2年初期研修→3年内科専門研修→3年間血内研修

サブスペシャリティ重点研修タイプ

2年間初期研修→3年間内科専門研修中1年間血内研修→2年間血内研修(のべ血内3年研修)

※多くは内科学会専門医or小児科専門医取得後  
院内で3年間研修、血内＝血液内科



## お申し込み・お問い合わせ

是非一度ご見学にお越し下さい！

見学は随時受付中です。

下記にご連絡ください。

- ◆ 東京北医療センター臨床研修センター
- ◆ TEL 03-5963-3311
- ◆ kensyu-s@tokyokita-jadecom.jp

# 東京北医療センター 血液内科専攻医プログラム

## 理念

- ◆ 地域の皆さま、医療機関、行政との連携を大切に、愛され、親しまれ、信頼される病院となることを目指します。



## 病院概要

- ◆ 一般病棟343床

- ◆ 病棟構成

4F東	52床	整・婦人科	4F西	41床	産婦人科・LDR5床
5F東	51床	内	5F西	41床	小・NICU3床・GCU6床
6F東	46床	外・泌・耳・ICU4床・HCU8床	6F西	49床	内・脳
2F南	33床	内・消	3F南	30床	血・内・無菌室15床

- ◆ 看護基準 7:1看護配置、平均在院日数9.5日
- ◆ 救急医療の実績：1日平均件数67.3件、救急車取扱件数5,089件

## 血液内科およびIMC-ART概要

- ◆ 国内最多の骨髄腫(MM)に対する幹細胞移植を実践してきたチーム・スタッフと、北関東でのMMに対する幹細胞移植を推進してきたスタッフが2017年4月に東京北医療センターに集結、**国際骨髄腫先端治療研究センター**(IMC-ART = International Myeloma Center for Advanced Research and Treatment)を創設した。
- ◆ **IMC-ART**ではMMに対する先端治療に加え、白血病、リンパ腫、その他の造血器腫瘍の治療を担えるだけでなく、再生不良性貧血等の造血障害、出血傾向や血栓形成傾向、血液領域の自己免疫疾患、前癌病変、など広範な血液疾患の実地診療が学べる。
- ◆ 造血幹細胞移植を始めとする再生医療や細胞治療に対する取り組みが学べる。
- ◆ **血液内科領域は特殊な診療領域なのか？**—実は非常に広い疾患を対象にしている！—
- ◆ 日本人の三大死因は、悪性腫瘍、心臓病、脳血管障害。局在性悪性腫瘍は根治の可能性が高いが、全身に広がると死因になり得る。全身性悪性腫瘍の治療理論(多剤併用療法・分子標的療法・新規免疫療法などの基礎理論)は血液内科で習得可能。心臓病の相当部分を占める冠虚血性疾患や、脳血管障害の主病型の脳血栓症は、血栓形成の面からは血液疾患。血液内科は、**三大死因も対象**とする、広範な総合診療分野である。
- ◆ 巨舌や巨口唇などのアミロイド沈着の診察法、恥骨を含む初期骨病変の診察法などは、通常の内科診断学を超える診察法。さらにはnegative data聴取を含む病歴聴取の実践。これらも医療の原点であるが、その実践の意義を現場で堪能できる。
- ◆ 診断学や治療学が、細胞→染色体→遺伝子レベルの解析結果に基づく血液内科であるため、基礎医学と臨床医学を統合した総合診療が体得できる。分子生物学的解析を含む診断と、**組織再生を含む治療学の絶妙な昇華**が、患者様の幸せに繋がることを実感できる。
- ◆ 診断学に留まらず、幹細胞からの組織再生など、ダイナミックで魅力溢れる血液学に魅せられる。「山がある、だからこそ登る」**熱い達成感**に溢れた診療の喜びを、実感しよう。
- ◆ Globalな議論や背景に基づくEBMの実践に加え、先端治療への取り組みが学べる。